

ブラックロック・リスク抑制分散投資ファンド (満期償還時 上値限定・元本確保契約付) 2022-07

第2期 運用報告書(全体版) (決算日:2024年3月29日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単字型投信／内外／資産複合／特殊型(その他型)	
信託期間	2027年8月27日まで(設定日:2022年7月29日)	
決算日	毎年3月の最終営業日	
運用方針	<p>①リスク抑制分散投資マザーファンドおよび短期円債マザーファンドの受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とし、信託財産の安定的な収益の確保を目標に運用を行います。マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を含む先進国の株式および債券に投資するブラックロック・グループが運用する上場投資信託証券(以下「ETF」といいます。)へ投資します。</p> <p>②マザーファンドの受益証券を通じて投資するETFは、当該ETFの収益の源泉やリスク、流動性および運用の効率性等を勘案のうえ、委託者が選定し、また各ETFへの投資割合を決定します。</p> <p>③マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む先進国の債券および株式へ投資する場合があります。</p> <p>④マザーファンドの受益証券を通じて、信託財産の効率的な運用に資するため、有価証券先物取引等のデリバティブ取引を活用する場合があります。</p> <p>⑤当初設定日から2027年6月まで、リスク抑制分散投資マザーファンドの受益証券(以下「分散投資マザーファンド」といいます。)の資産配分を毎月徐々に引き上げることで、時間分散投資効果を考慮した運用を行います。なお、当初設定日より、分散投資マザーファンドへの投資を開始します。</p> <p>⑥2027年7月23日以降は、償還に向けて、マザーファンドの組入比率を順次引き下げていきます。</p> <p>⑦満期償還時の元本確保のため、上値限定・元本確保契約を元本確保会社である株式会社三菱UFJ銀行等と締結します。</p> <p>⑧実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>⑨資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>	
主要投資対象	子投資信託	<p>【ブラックロック・リスク抑制分散投資ファンド(満期償還時 上値限定・元本確保契約付)2022-07】 リスク抑制分散投資マザーファンドおよび短期円債マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。</p>
	親投資信託	<p>【リスク抑制分散投資マザーファンド】 日本を含む先進国の債券および株式に投資するブラックロック・グループが運用するETFならびに日本を含む先進国の債券および株式を投資対象とします。なお、有価証券先物取引等のデリバティブ取引を活用する場合があります。</p> <p>【短期円債マザーファンド】 円建ての債券を主要投資対象とします。</p>
組入制限	<p>■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>■上場投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。</p>	
分配方針	<p>年1回の毎決算時(3月の最終営業日)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。分配金額を決定する際には、当ファンドの商品性を考慮し、より分配を抑制することを基本とし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。</p> <p>■分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益または元本超過額いずれか多い額とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあり得ます。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当ファンドは上記の通り決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号: 03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

CONTENTS

子投資信託(決算日:2024年3月29日)

「ブラックロック・リスク抑制分散投資ファンド(満期償還時 上値限定・元本確保契約付)2022-07」

- ◇ 基準価額の推移
- ◇ 運用担当者コメント
- ◇ ファンド状況
- ◇ 資産状況

親投資信託(決算日:2024年3月29日)

「リスク抑制分散投資マザーファンド」

- ◇ 基準価額の推移
- ◇ 運用担当者コメント
- ◇ ファンド状況
- ◇ 運用内容
- ◇ 資産状況
- ◇ マザーファンドの組入上位ファンドの概要

親投資信託(決算日:2024年3月29日)

「短期円債マザーファンド」

- ◇ 基準価額の推移
- ◇ 運用担当者コメント
- ◇ ファンド状況
- ◇ 運用内容
- ◇ 資産状況

◇基準価額の推移

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	投資信託 受益組 入比率	元残 本率
	(分配落)	税金 分配	期中 騰落	期中 騰落率				
(設定日) 2022年7月29日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期(2023年3月31日)	9,976	0	△24	△0.2	△0.4	84.7	15.1	99.4
2期(2024年3月29日)	9,925	0	△51	△0.5	△0.4	64.8	35.4	95.2

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、また、設定日の公社債組入比率および投資信託受益証券組入比率は、設定時の組入比率を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は税込分配金込み。基準価額は1万口当り。

(注3) 公社債組入比率には新株予約権付社債は含まれていません。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「公社債組入比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質組入比率を記載しています。

(注5) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 受益組 入比率
	騰落	騰落率		
(期首) 2023年3月31日	円 9,976	% -	% 84.7	% 15.1
4月末	9,971	△0.1	83.1	16.7
5月末	9,963	△0.1	81.3	18.7
6月末	9,959	△0.2	79.8	20.4
7月末	9,940	△0.4	78.1	21.7
8月末	9,918	△0.6	76.4	23.4
9月末	9,899	△0.8	75.0	24.9
10月末	9,863	△1.1	73.6	26.2
11月末	9,908	△0.7	95.3	27.8
12月末	9,930	△0.5	69.7	28.0
2024年1月末	9,913	△0.6	68.2	31.8
2月末	9,910	△0.7	85.0	33.4
(期末) 2024年3月29日	9,925	△0.5	64.8	35.4

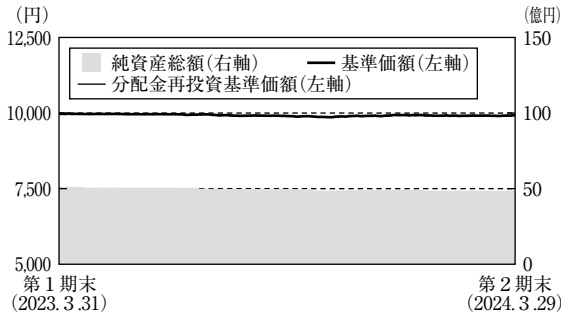
(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率には新株予約権付社債は含まれていません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「公社債組入比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質組入比率を記載しています。

(注4) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■当期中の基準価額等の推移について(第2期:2023年4月1日~2024年3月29日)



第2期首: 9,976円

第2期末: 9,925円(既払分配金0円)

騰落率: -0.5%(分配金再投資ベース)

- * 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- * 分配金再投資基準価額は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

◇運用担当者コメント

投資環境について

当期、株式市場が前期末比で上昇した一方、債券市場は前期末比で下落しました。

期初は、米国の大型テクノロジー銘柄群を中心とした生成人工知能(AI)にかかる業績拡大期待から、日米欧の株式市場が上昇しました。その後は、8月から10月にかけて利益確定売りが散見されながらも、11月以降、良好な経済統計データやインフレ圧力の落ち着きなどを背景に、市場ではリスク許容度が回復し、株式市場は上昇基調に転換しました。さらに1月、米国半導体大手の好調な決算を受け、生成人工知能(AI)にかかる業績拡大期待が更に高まりました。その結果、大型テクノロジー関連銘柄をけん引役に、日本株式(日経平均株価)も史上最高値を更新するなど、各国の株式市場は大きく上昇しました。債券市場では、前期末比で利回りが上昇(価格は下落、現地通貨ベース)しました。前半は想定以上に米国経済

が堅調に推移しているほか、米国の財政拡大への懸念や金融引き締め長期化観測などを受けて、米国長期金利が上昇しました。2023年末には米連邦準備制度理事会(FRB)が早期に利下げに踏み切るとの期待から金利は低下基調に転換したものの、期末に向けて再度利回りが上昇(価格は下落)しました。

ポートフォリオについて

<当ファンド>

当ファンドは、設定から2027年6月までの約5年間、リスク抑制分散投資マザーファンドにおいて行われるマルチアセット投資への資産配分を徐々に引き上げ、時間分散投資効果を考慮した運用を行います。当期につきましても、これに沿った運用を行い、当期末時点でのリスク抑制分散投資マザーファンドへの資産配分割合は、35.1%となっています。

<リスク抑制分散投資マザーファンド>

日本を含む先進国の債券および株式に投資するブラックロック・グループが運用する上場投資信託証券(ETF)に投資し、信託財産の安定的な収益の確保を目指すとともに、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行いました。

当期は、市場変動率が全般に高い状況が継続したことを考慮し、やや保守的な投資行動を継続しました。具体的には株式市場へは1割弱程度、債券市場へは短期債中心に9割強程度の資金配分を行いました。国別には、株式市場では米国中心の構成、債券市場では米国・日本中心の構成としつつデュレーションを抑制気味としたポートフォリオを維持しました。また、外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

<短期円債マザーファンド>

円建ての債券を主要投資対象とし、長期的に円ベースでの信託財産の安定した成長を目標として運用を行いました。

当期、非国債への配分がプラス寄与しました。また、利回りカーブ効果、国債の銘柄選択はマイナス寄与したものの、国債のデュレーションのアンダーウェ

イトのプラス寄与が上回り、金利関連のポジションも小幅にプラス寄与しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の期中騰落率は-0.5%となりました。

当期、リスク抑制分散投資マザーファンドにおいて米国国債および日本国債が主なマイナス要因となりました。

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
リスク抑制分散投資マザーファンド	△1.3%
短期円債マザーファンド	△0.1%

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

収益分配は基準価額水準、市場動向等を勘案して、見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

今後の運用方針について

<当ファンド>

リスク抑制分散投資マザーファンドへの資産配分を徐々に引き上げ、時間分散投資効果を考慮した運用を行います。

<リスク抑制分散投資マザーファンド>

主として、日本を含む先進国の債券および株式に投資するブラックロック・グループが運用するETFに投資し、信託財産の安定的な収益の確保を目指すとともに、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

今後、良好な経済指標やインフレ率の鈍化を示唆する環境下では、リスク性資産は堅調に推移すると

考えられるものの、ボラティリティ(変動性)の高い展開が継続すると想定します。当ファンドにおいては実体経済動向や金融政策動向、各資産のバリュエーション等に留意しつつ、中長期的なリターンの獲得にむけて慎重なリスク量の管理を行いながらリバランスを実施する方針です。

<短期円債マザーファンド>

円建ての債券を主要投資対象とし、長期的に円ベースでの信託財産の安定した成長を目標として運用を行います。

引き続き、相対的にリスクが低いと考えられる短期国債を中心に保有しつつ、一部は財投機関債や地方債に配分することで利回り向上を図ります。

◇ファンド状況

■ 1万口当りの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	(2023. 4. 1～2024. 3. 29)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 18	% 0.184	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は9,927円です。
(投信会社)	(6)	(0.063)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(9)	(0.087)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(3)	(0.033)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.007	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(1)	(0.007)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	15	0.150	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印刷費用・監査費用等)	(6)	(0.056)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(9)	(0.090)	信託事務の処理等に要するその他諸費用。主に、上値限定・元本確保契約に係る費用。
合計	34	0.340	

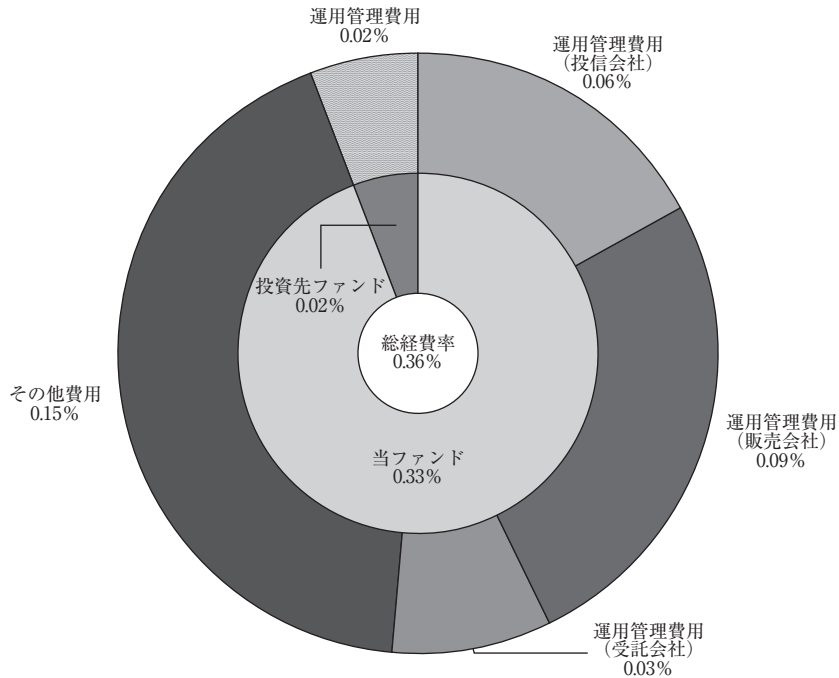
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.36%です。

総経費率(①+②)	0.36%
①当ファンドの費用の比率	0.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況(2023年4月1日から2024年3月29日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
リスク抑制分散投資マザーファンド	千口 1,024,685	千円 980,023	千口 38,515	千円 36,657
短期円債マザーファンド	-	-	1,177,934	1,176,060

(注) 単位未満は切捨て。

■親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2023年4月1日から2024年3月29日まで)

当期における株式の売買はありません。

■利害関係人との取引状況(2023年4月1日から2024年3月29日まで)

上記期間における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
リスク抑制分散投資マザーファンド		千口 794,603	千口 1,780,774	千円 1,709,187
短期円債マザーファンド		4,347,318	3,169,383	3,162,094

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) リスク抑制分散投資マザーファンドの受益権総口数は1,780,774千口です。

短期円債マザーファンドの受益権総口数は3,169,383千口です。

◇資産状況

■投資信託財産の構成

2024年3月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
短期円債マザーファンド	3,162,094	64.8
リスク抑制分散投資マザーファンド	1,709,187	35.0
コール・ローン等、その他	8,749	0.2
投資信託財産総額	4,880,030	100.0

(注1) リスク抑制分散投資マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(1,175,082千円)の投資信託財産総額(1,770,569千円)に対する比率は、66.4%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=151.41円、1英国・ポンド=191.22円、1ユーロ=163.24円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月29日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,880,030,962円
コール・ローン等	8,749,596
短期円債マザーファンド(評価額)	3,162,094,342
リスク抑制分散投資マザーファンド(評価額)	1,709,187,024
(B) 負 債	7,235,761
未払信託報酬	3,884,572
その他未払費用	3,351,189
(C) 純資産総額(A-B)	4,872,795,201
元 本	4,909,831,501
次期繰越損益金	△ 37,036,300
(D) 受益権総口数	4,909,831,501口
1万口当り基準価額(C/D)	9,925円

<注記事項>

設定年月日	2022年7月29日
設定元本額	5,159,831,501円
期首元本額	5,129,831,501円
期末元本残存率	95.2%

(注) 資産、負債、元本および基準価額の状況には、当ファンドが締結する上値限定・元本確保契約に係る評価額は含まれておりません。なお、別途作成する有価証券報告書のファンドの経理状況に掲げる財務諸表における1口当たり純資産額には、上値限定・元本確保契約に係る評価額が含まれております。

■損益の状況

自2023年4月1日 至2024年3月29日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 2,502,932円
売 買 損	△ 2,502,932
(B) 有価証券評価差損益	△ 9,323,693
(C) 信託報酬等	△14,533,846
(D) 当期損益金(A+B+C)	△26,360,471
(E) 前期繰越損益金	△12,237,829
(F) 解約差損益金	1,562,000
(G) 合 計(D+E+F)	△37,036,300
次期繰越損益金(G)	△37,036,300

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中の信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 損益の状況の中で解約差損益金とは中途解約の際、解約代金と元本の差額をいいます。

(注4) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係わる権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額は、281,211円です。

■当期の分配金

当期の分配金は見送らせていただきました。

(注) 第2期計算期末における、費用控除後の配当等収益額が27,833,274円であり、純資産額の元本超過額がないため、分配対象収益は27,833,274円となりましたが、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案し、当期は分配を見合わせました。

運用報告書

－第2期－ 決算日 2024年3月29日
計算期間(2023年4月1日～2024年3月29日)

リスク抑制分散投資マザーファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

決 算 日	毎年3月の最終営業日
運用方針	<p>①信託財産の安定的な収益の確保を目指すとともに、信託財産の中長期的な成長を目標に、主として、日本を含む先進国の債券および株式に投資するブラックロック・グループが運用する上場投資信託証券(以下「ETF」といいます。)に投資をします。また、日本を含む先進国の債券および株式にも投資する場合があります。</p> <p>②投資対象とするETFは、流動性や運用の効率性等を勘案したうえで委託者の判断により選定します。</p> <p>③投資対象とするETFへの投資割合は、市場の収益機会、この信託におけるリスク分散および運用の効率性等を勘案し、委託者の判断により機動的に変更を行います。</p> <p>④市場環境の大きな変化等により価格変動リスクが上昇した場合には、債券に投資するETFおよび債券への配分比率を高めるなど価格変動リスクの抑制を重視した運用を行うことがあります。</p> <p>⑤外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>⑥信託財産の効率的な運用に資するため、有価証券先物取引等のデリバティブ取引を活用する場合があります。</p> <p>⑦ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッド(BlackRock Asset Management North Asia Limited)にETF等への投資にかかる運用の指図に関する権限の一部を委託します。</p> <p>⑧資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
主要運用対象	日本を含む先進国の債券および株式に投資するブラックロック・グループが運用するETFならびに日本を含む先進国の債券および株式を投資対象とします。なお、有価証券先物取引等のデリバティブ取引を活用する場合があります。
組入制限	<p>■株式への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>■新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>■上場投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>

◇基準価額の推移

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		投資信託受益証券組入比率	純資産
	円	騰落率		
(設定日) 2022年7月29日	10,000	-	-	百万円 86
1期(2023年3月31日)	9,726	△2.7	99.8	772
2期(2024年3月29日)	9,598	△1.3	101.1	1,709

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。また、設定日の投資信託受益証券組入比率は、設定時の組入比率を表示しております。

(注2) 基準価額は1万口当り。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨て。

(注4) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■当期中の基準価額と市況の推移

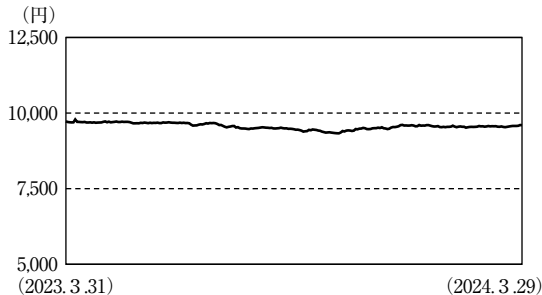
年月日	基準価額		投資信託受益証券組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2023年3月31日	9,726	-	99.8
4月末	9,709	△0.2	99.7
5月末	9,676	△0.5	101.6
6月末	9,672	△0.6	101.8
7月末	9,605	△1.2	99.7
8月末	9,519	△2.1	100.4
9月末	9,452	△2.8	100.2
10月末	9,332	△4.1	99.8
11月末	9,501	△2.3	98.5
12月末	9,588	△1.4	93.3
2024年1月末	9,543	△1.9	100.7
2月末	9,549	△1.8	100.1
(期末) 2024年3月29日	9,598	△1.3	101.1

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■基準価額の推移

(2023年3月31日～2024年3月29日)



◇運用担当者コメント

投資環境について

当期、株式市場が前期末比で上昇した一方、債券市場は前期末比で下落しました。

期初は、米国の大型テクノロジー銘柄群を中心とした生成人工知能(AI)にかかる業績拡大期待から、日米欧の株式市場が上昇しました。その後は、8月から10月にかけて利益確定売りが散見されながらも、11月以降、良好な経済統計データやインフレ圧力の落ち着きなどを背景に、市場ではリスク許容度が回復し、株式市場は上昇基調に転換しました。さらに1月、米国半導体大手の好調な決算を受け、生成人工知能(AI)にかかる業績拡大期待が更に高まりました。その結果、大型テクノロジー関連銘柄をけん引役に、日本株式(日経平均株価)も史上最高値を更新するなど、各国の株式市場は大きく上昇しました。債券市場では、前期末比で利回りが上昇(価格は下落、現地通貨ベース)しました。前半は想定以上に米国経済が堅調に推移しているほか、米国の財政拡大への懸念や金融引き締めめ長期化観測などを受けて、米国長期金利が上昇しました。2023年末には米連邦準備

◇ファンド状況

■1万口当りの費用明細

項目	当期
	円
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券)	2 (2)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	4

制度理事会(FRB)が早期に利下げに踏み切るとの期待から金利は低下基調に転換したものの、期末に向けて再度利回りが上昇(価格は下落)しました。

ポートフォリオについて

日本を含む先進国の債券および株式に投資するブラックロック・グループが運用する上場投資信託証券(ETF)に投資し、信託財産の安定的な収益の確保を目指すとともに、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行いました。

当期は、市場変動率が全般に高い状況が継続したことを考慮し、やや保守的な投資行動を継続しました。具体的には株式市場へは1割弱程度、債券市場へは短期債中心に9割強程度の資金配分を行いました。国別には、株式市場では米国中心の構成、債券市場では米国・日本中心の構成としつつデュレーションを抑制気味としたポートフォリオを維持しました。また、外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

今後の運用方針について

主として、日本を含む先進国の債券および株式に投資するブラックロック・グループが運用するETFに投資し、信託財産の安定的な収益の確保を目指すとともに、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

今後、良好な経済指標やインフレ率の鈍化を示唆する環境下では、リスク性資産は堅調に推移すると考えられるものの、ボラティリティ(変動性)の高い展開が継続すると想定します。当ファンドにおいては実体経済動向や金融政策動向、各資産のバリュエーション等に留意しつつ、中長期的なリターンの獲得にむけて慎重なリスク量の管理を行いながらリバランスを実施する方針です。

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数

(b) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数

(c) その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◇運用内容

■売買及び取引の状況(2023年4月1日から2024年3月29日まで)
投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	iシェアーズ・コア TOPIX ETF	千口 13	千円 32,037	千口 1	千円 4,197
	iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	151	375,690	44	108,823
外	iShares Core S&P 500 ETF	千口 1	千米・ドル 453	千口 0.314	千米・ドル 143
	iShares 20+ Year Treasury Bond ETF	4	421	1	181
	iShares 1-3 Year Treasury Bond ETF	0.05	4	3	262
	iShares Short Treasury Bond ETF	15	1,752	19	2,175
	iShares U.S. Treasury Bond ETF	57	1,308	11	266
	iShares 0-3 Month Treasury Bond ETF	14	1,417	5	524
国	iShares Core FTSE 100 UCITS ETF	千口 44	千英国・ポンド 335	千口 24	千英国・ポンド 180
	iShares Core UK Gilts UCITS ETF	10	111	10	107
	iShares UK Gilts 0-5yr UCITS ETF	8	1,055	1	138
	iShares Germany Govt Bond UCITS ETF	千口 5	千ユーロ 616	千口 1	千ユーロ 145
	iShares Core DAX® UCITS ETF	千口 2	千ユーロ 298	千口 0.686	千ユーロ 90

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の口数のみは小数で記載。

■組入資産の明細

(1) 国内投資信託受益証券

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
iシェアーズ・コア	TOPIX ETF	千口 11	千円 34,108
iシェアーズ・コア	日本国債 ETF	212	520,163
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 ・ 比 率	224 2銘柄	554,272 (32.4%)

(注1) 合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託受益証券

銘	柄	当 期 末		
		口 数	評 価 額	
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)		千口	千米・ドル	千円
iShares Core S&P 500 ETF		0.867	455	69,013
iShares 20+ Year Treasury Bond ETF		2	224	34,010
iShares Short Treasury Bond ETF		7	795	120,471
iShares U.S. Treasury Bond ETF		50	1,141	172,845
iShares 0-3 Month Treasury Bond ETF		20	2,054	311,115
通貨小計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 ・ 比 率	80 5銘柄	4,672 -	707,457 (41.4%)
(イギリス)		千口	千英国・ポンド	千円
iShares Core FTSE 100 UCITS ETF		22	177	33,987
iShares UK Gilts 0-5yr UCITS ETF		12	1,629	311,541
通貨小計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 ・ 比 率	35 2銘柄	1,806 -	345,528 (20.2%)
(ユーロ…アイルランド)		千口	千ユーロ	千円
iShares Germany Govt Bond UCITS ETF		4	524	85,675
(ユーロ…ドイツ)		千口	千ユーロ	千円
iShares Core DAX® UCITS ETF		1	209	34,206
ユーロ小計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 ・ 比 率	5 2銘柄	734 -	119,881 (7.0%)
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 ・ 比 率	122 9銘柄	-	1,172,868 (68.6%)

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 〈 〉内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数、評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の口数のみは小数で記載。

◇資産状況

■投資信託財産の構成

2024年3月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1,727,140	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	43,429	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,770,569	100.0

(注1) 当期末における外貨建資産(1,175,082千円)の投資信託財産総額(1,770,569千円)に対する比率は、66.4%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。換算レートは、1米・ドル=151.41円、1英国・ポンド=191.22円、1ユーロ=163.24円です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月29日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,033,127,018円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	41,726,479
投資信託受益証券(評価額)	1,727,140,812
未 収 入 金	1,262,946,816
未 収 配 当 金	1,312,911
(B) 負 債	1,324,023,339
未 払 金	1,324,023,339
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,709,103,679
元 本	1,780,774,145
次 期 繰 越 損 益 金	△ 71,670,466
(D) 受 益 権 総 口 数	1,780,774,145口
1万口当り基準価額(C/D)	9,598円

<注記事項>

期首元本額	794,603,914円
期中追加設定元本額	1,024,685,326円
期中一部解約元本額	38,515,095円

期末における元本の内訳

リスク抑制分散投資ファンド(元本確保契約付)2022-07	1,780,774,145円
合計	1,780,774,145円

■損益の状況

自2023年4月1日 至2024年3月29日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	34,618,788円
受 取 配 当 金	34,590,725
受 取 利 息	23,936
そ の 他 収 益 金	4,127
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 41,560,025
売 買 損 益	165,721,313
売 買 費 損	△207,281,338
(C) そ の 他 費 用	△ 178,213
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 7,119,450
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 21,746,399
(F) 解 約 差 損 益 金	1,857,378
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 44,661,995
(H) 合 計(D+E+F+G)	△ 71,670,466
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 71,670,466

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で追加信託差損益金とは追加信託の際、追加代金と元本の差額をいいます。

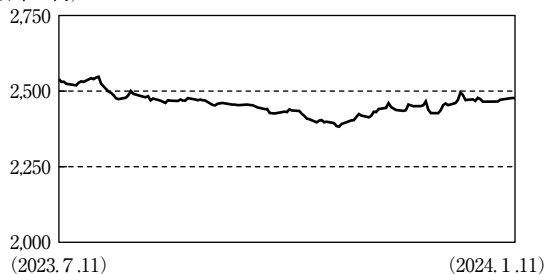
(注3) 損益の状況の中で解約差損益金とは中途解約の際、解約代金と元本の差額をいいます。

◇マザーファンドの組入上位ファンドの概要

◆iシェアーズ・コア 日本国債 ETF

○基準価額の推移

(日本・円)



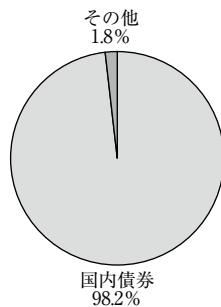
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
372 10年国債	日本・円	1.1%
163 5年国債	日本・円	1.1
37 30年国債	日本・円	0.9
371 10年国債	日本・円	0.9
35 30年国債	日本・円	0.8
33 30年国債	日本・円	0.8
185 20年国債	日本・円	0.8
178 20年国債	日本・円	0.8
181 20年国債	日本・円	0.8
36 30年国債	日本・円	0.8
組入銘柄数	263銘柄	

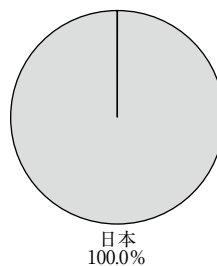
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

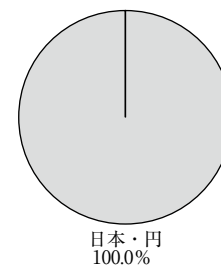
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

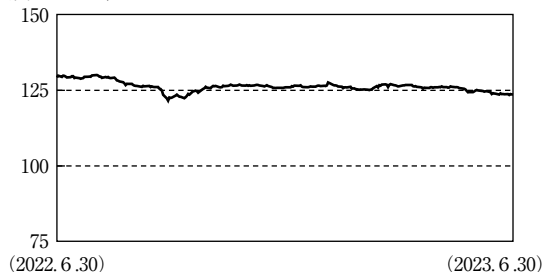
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares UK Gilts 0-5yr UCITS ETF

○基準価額の推移

(英国・ポンド)



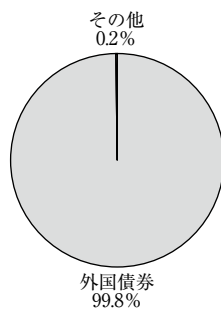
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
UK CONV GILT 5.0 07-MAR-2025 Reg-S	英国・ポンド	7.4%
UK CONV GILT 1.5 22-JUL-2026 Reg-S	英国・ポンド	7.4
UK CONV GILT 0.625 07-JUN-2025 Reg-S	英国・ポンド	7.2
UK CONV GILT 1.25 22-JUL-2027 Reg-S	英国・ポンド	7.0
UK CONV GILT 2.25 07-SEP-2023 Reg-S	英国・ポンド	6.8
UK CONV GILT 2.0 07-SEP-2025 Reg-S	英国・ポンド	6.8
UK CONV GILT 0.25 31-JAN-2025 Reg-S	英国・ポンド	6.4
UK CONV GILT 2.75 07-SEP-2024 Reg-S	英国・ポンド	6.0
UK CONV GILT 0.125 31-JAN-2024 Reg-S	英国・ポンド	6.0
UK CONV GILT 1.0 22-APR-2024 Reg-S	英国・ポンド	5.7
組入銘柄数	19銘柄	

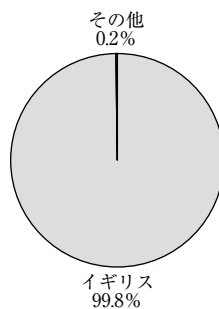
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

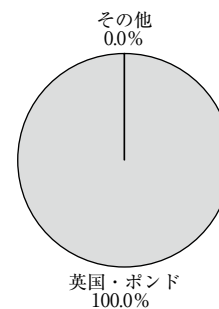
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

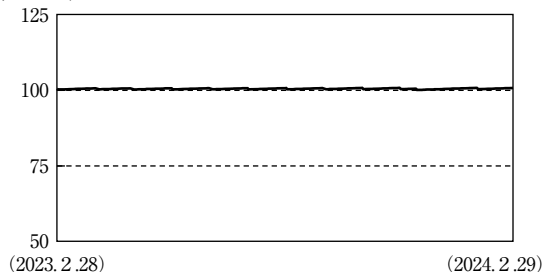
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares 0-3 Month Treasury Bond ETF

○基準価額の推移

(米・ドル)



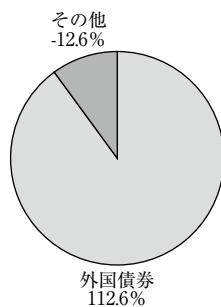
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TREASURY BILL 05-Mar-2024	米・ドル	13.4%
TREASURY BILL 30-Apr-2024	米・ドル	13.2
TREASURY BILL 02-Apr-2024	米・ドル	13.1
TREASURY BILL 19-Mar-2024	米・ドル	12.9
TREASURY BILL 16-Apr-2024	米・ドル	12.0
TREASURY BILL 12-Mar-2024	米・ドル	8.3
TREASURY BILL 07-Mar-2024	米・ドル	7.1
TREASURY BILL 09-Apr-2024	米・ドル	6.0
TREASURY BILL 04-Apr-2024	米・ドル	4.7
TREASURY BILL 14-Mar-2024	米・ドル	4.0
組入銘柄数	21銘柄	

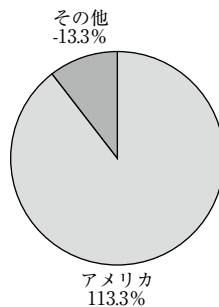
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

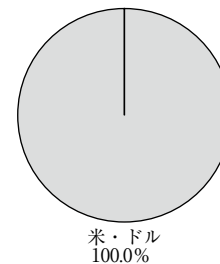
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

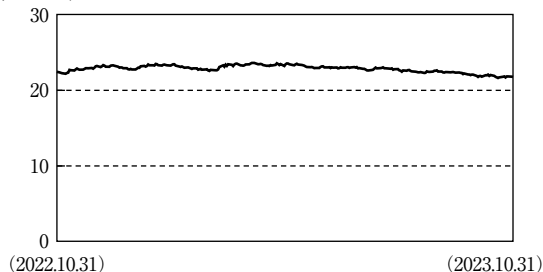
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares U.S. Treasury Bond ETF

○基準価額の推移

(米・ドル)



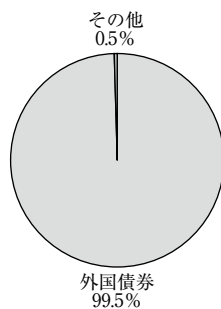
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TREASURY NOTE 1.375 15-NOV-2031	米・ドル	4.9%
TREASURY BOND 1.875 15-FEB-2051	米・ドル	3.3
TREASURY NOTE 3.125 15-NOV-2028	米・ドル	3.3
TREASURY NOTE 2.625 15-FEB-2029	米・ドル	3.2
TREASURY NOTE 2.375 15-AUG-2024	米・ドル	2.7
TREASURY NOTE 2.75 15-FEB-2028	米・ドル	2.6
TREASURY NOTE 1.625 15-MAY-2026	米・ドル	2.6
TREASURY NOTE 2.0 15-FEB-2025	米・ドル	2.4
TREASURY NOTE 2.25 15-FEB-2027	米・ドル	2.3
TREASURY NOTE 0.375 30-NOV-2025	米・ドル	2.3
組入銘柄数	170銘柄	

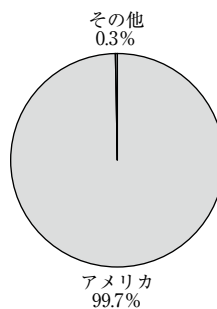
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

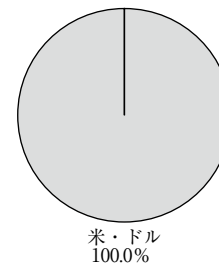
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

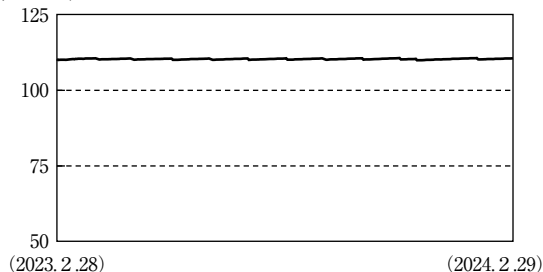
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares Short Treasury Bond ETF

○基準価額の推移

(米・ドル)



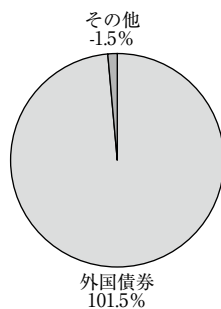
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TREASURY BILL 30-May-2024	米・ドル	6.4%
TREASURY BILL 04-Apr-2024	米・ドル	5.1
TREASURY BILL 26-Mar-2024	米・ドル	5.0
TREASURY BILL 31-Oct-2024	米・ドル	4.4
TREASURY BILL 15-Aug-2024	米・ドル	4.3
TREASURY BILL 16-May-2024	米・ドル	3.9
TREASURY BILL 12-Mar-2024	米・ドル	3.4
TREASURY BILL 03-Oct-2024	米・ドル	3.4
TREASURY BILL 13-Jun-2024	米・ドル	3.3
TREASURY BILL 23-Apr-2024	米・ドル	3.3
組入銘柄数	38銘柄	

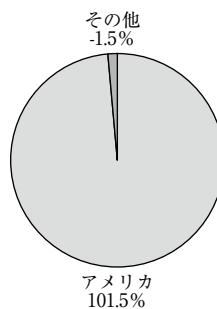
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

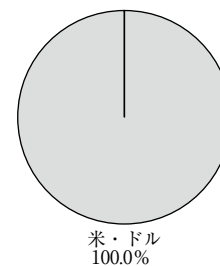
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

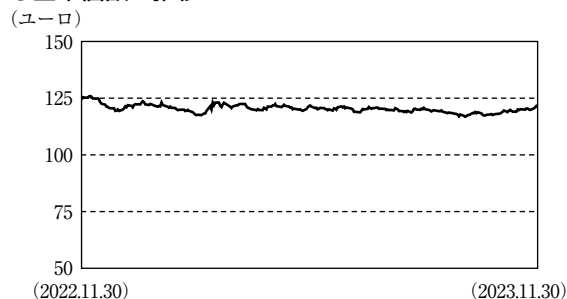
(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares Germany Govt Bond UCITS ETF

○基準価額の推移



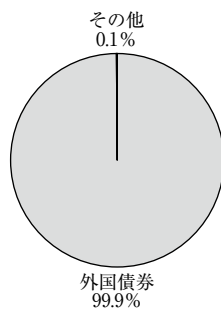
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 23 15-FEB-2033 Reg-S	ユーロ	2.9%
BUNDESREPUBLIK DEUTSCHLAND 4.0 04-JAN-2037 Reg-S	ユーロ	2.6
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 0.5 15-FEB-2026 Reg-S	ユーロ	2.5
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 0.5 15-AUG-2027 Reg-S	ユーロ	2.4
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 15-AUG-2026 Reg-S	ユーロ	2.4
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 4.75 04-JUL-2034 Reg-S	ユーロ	2.4
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 2.5 15-AUG-2046 Reg-S	ユーロ	2.4
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 15-AUG-2030 Reg-S	ユーロ	2.3
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 2.5 04-JUL-2044 Reg-S	ユーロ	2.3
GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) 1.0 15-AUG-2025 Reg-S	ユーロ	2.2
組入銘柄数	62銘柄	

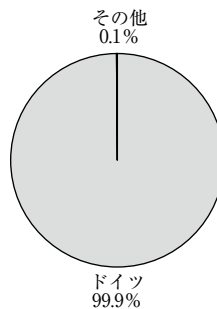
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

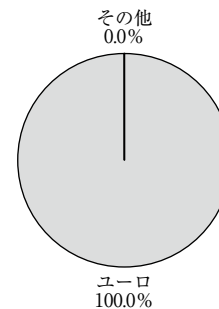
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

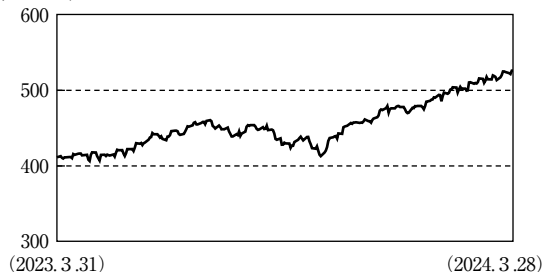
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares Core S&P 500 ETF

○基準価額の推移

(米・ドル)



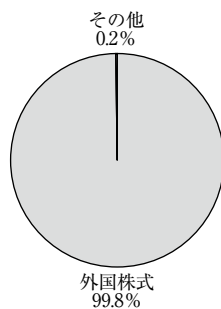
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORP	米・ドル	7.1%
APPLE INC	米・ドル	5.6
NVIDIA CORP	米・ドル	5.1
AMAZON COM INC	米・ドル	3.7
META PLATFORMS INC CLASS A A	米・ドル	2.4
ALPHABET INC CLASS A A	米・ドル	2.0
BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B B	米・ドル	1.7
ALPHABET INC CLASS C C	米・ドル	1.7
ELI LILLY	米・ドル	1.4
BROADCOM INC	米・ドル	1.3
組入銘柄数	504銘柄	

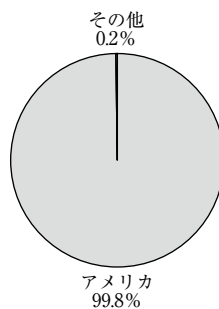
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

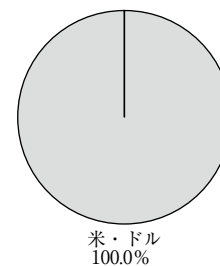
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

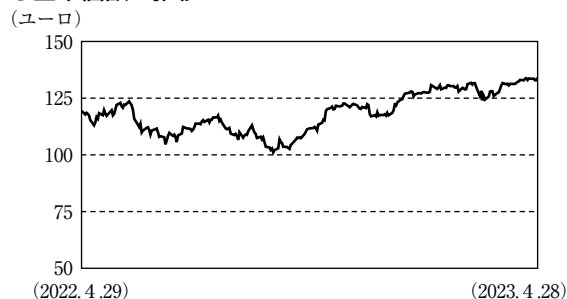
(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares Core DAX® UCITS ETF

○基準価額の推移



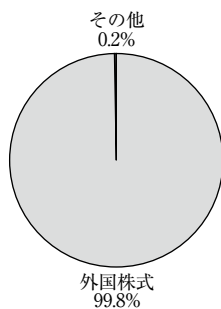
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
SAP	ユーロ	10.4%
SIEMENS N AG N	ユーロ	9.1
ALLIANZ	ユーロ	7.5
DEUTSCHE TELEKOM N AG N	ユーロ	6.4
AIRBUS	ユーロ	6.2
BAYER AG N	ユーロ	4.8
MERCEDES-BENZ GROUP N AG N	ユーロ	4.6
MUENCHENER RUECKVERSICHERUNGS-GESE N	ユーロ	3.9
BASF N	ユーロ	3.6
INFINEON TECHNOLOGIES AG N	ユーロ	3.5
組入銘柄数	40銘柄	

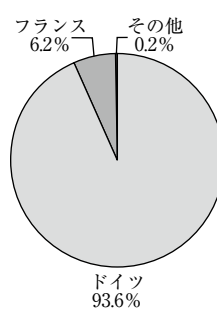
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

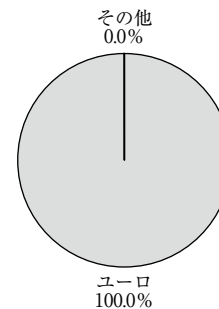
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

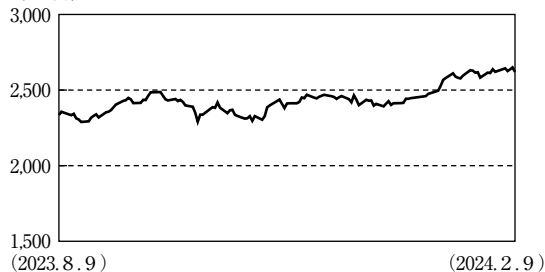
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iシェアーズ・コア TOPIX ETF

○基準価額の推移

(日本・円)



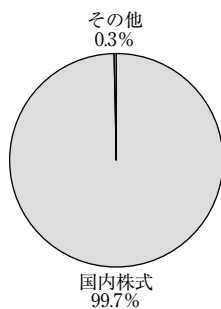
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	5.0%
ソニーグループ	日本・円	2.8
三菱UFJフィナンシャルG	日本・円	2.3
キーエンス	日本・円	1.8
東京エレクトロン	日本・円	1.7
日立	日本・円	1.6
三菱商事	日本・円	1.6
任天堂	日本・円	1.5
日本電信電話	日本・円	1.5
信越化学	日本・円	1.5
組入銘柄数	2,153銘柄	

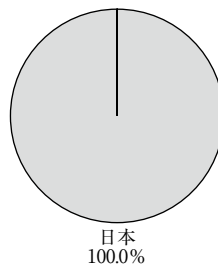
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

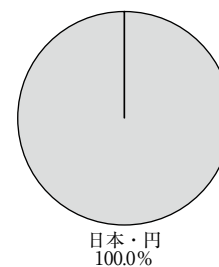
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

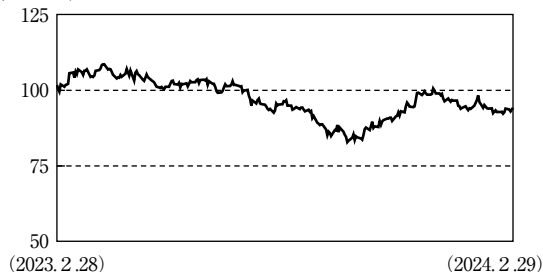
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares 20+ Year Treasury Bond ETF

○基準価額の推移

(米・ドル)



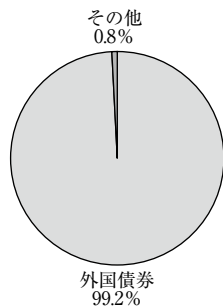
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TREASURY BOND 1.875 15-FEB-2051	米・ドル	8.1%
TREASURY BOND 2.0 15-AUG-2051	米・ドル	7.3
TREASURY BOND 1.625 15-NOV-2050	米・ドル	6.3
TREASURY BOND 1.875 15-NOV-2051	米・ドル	5.6
TREASURY BOND 4.125 15-AUG-2053	米・ドル	4.9
TREASURY BOND 3.0 15-FEB-2048	米・ドル	4.8
TREASURY BOND 3.125 15-AUG-2044	米・ドル	4.3
TREASURY BOND 2.5 15-MAY-2046	米・ドル	4.1
TREASURY BOND 2.0 15-FEB-2050	米・ドル	4.0
TREASURY BOND 3.625 15-MAY-2053	米・ドル	3.9
組入銘柄数	43銘柄	

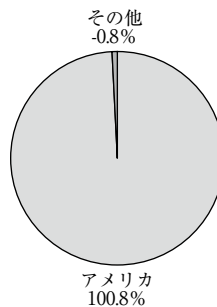
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

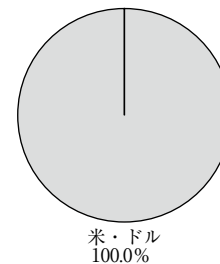
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

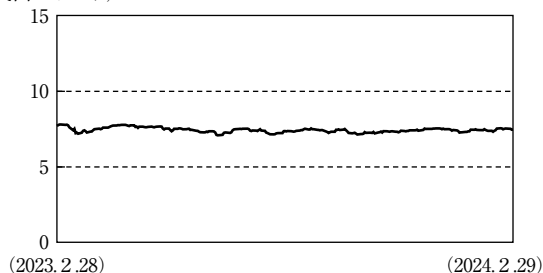
(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

◆iShares Core FTSE 100 UCITS ETF

○基準価額の推移

(英国・ポンド)



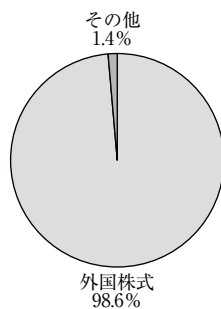
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
SHELL PLC	英国・ポンド	8.4%
ASTRAZENECA PLC	英国・ポンド	7.6
HSBC HOLDINGS PLC	英国・ポンド	6.2
UNILEVER PLC	英国・ポンド	5.0
BP PLC	英国・ポンド	4.0
GLAXOSMITHKLINE	英国・ポンド	3.5
RELX PLC	英国・ポンド	3.4
DIAGEO PLC	英国・ポンド	3.4
RIO TINTO PLC	英国・ポンド	2.9
BRITISH AMERICAN TOBACCO	英国・ポンド	2.7
組入銘柄数	102銘柄	

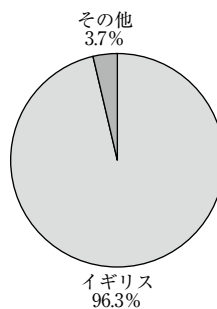
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

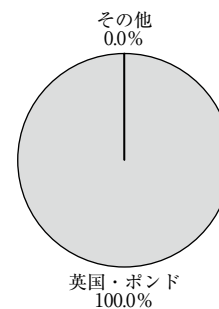
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック・グループのデータに基づき記載しております。

運用報告書

－第2期－ 決算日 2024年3月29日
計算期間(2023年4月1日～2024年3月29日)

短期円債マザーファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

決 算 日	毎年3月の最終営業日
運 用 方 針	①長期的に円ベースでの信託財産の安定した成長を目標に、主として、円建ての債券に投資することで安定的な収益の確保を目指します。 ②デュレーション・リスク、イールドカーブ・リスク、セクター・リスク等の調整にあたっては、債券先物取引等のデリバティブを活用することがあります。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	円建ての債券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	■債券への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。

◇基準価額の推移

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	純資産
	円	騰落率		
(設定日) 2022年7月29日	10,000	-	-	5,073
1期(2023年3月31日)	9,990	△0.1	99.8	4,342
2期(2024年3月29日)	9,977	△0.1	99.8	3,162

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本を表示しております。また、設定日の公社債組入比率は、設定時の組入比率を表示しております。

(注2) 基準価額は1万口当り。

(注3) 公社債組入比率には新株予約権付社債は含まれていません。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨て。

■当期中の基準価額と市況の推移

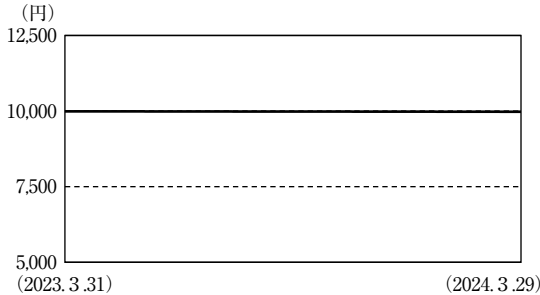
年月日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2023年3月31日	9,990	-	99.8
4月末	9,989	△0.0	99.8
5月末	9,989	△0.0	99.7
6月末	9,987	△0.0	99.8
7月末	9,986	△0.0	99.8
8月末	9,985	△0.1	99.6
9月末	9,985	△0.1	99.8
10月末	9,983	△0.1	99.8
11月末	9,982	△0.1	132.9
12月末	9,981	△0.1	99.6
2024年1月末	9,980	△0.1	99.8
2月末	9,978	△0.1	127.5
(期末) 2024年3月29日	9,977	△0.1	99.8

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率には新株予約権付社債は含まれていません。

■基準価額の推移

(2023年3月31日～2024年3月29日)



◇運用担当者コメント

投資環境について

当期において、国内債券市場では金利が上昇し、イールドカーブはベアステープ化しました。期初、国内テクニカル要因を中心に利回り上昇圧力が強まり、10年債利回りはイールドカーブコントロール(長短金利操作、YCC)レンジ上限の0.5%近くを試した一方、4月末の日銀の政策変更なしという結果を受けて、大きく買い戻されました。その後は、米欧債券市場が中銀のタカ派姿勢維持を背景に利回り上昇圧力を受けた一方、対照的に日銀は大規模緩和維持の姿勢を継続したこともあり、国内債券利回りは狭いレンジ内での動きが続きました。しかし、7月以降、米国経済指標が底固さを維持し米連邦準備制度理事会(FRB)が政策金利を高い水準で長く据え置くという観測が広がった中、米欧債券市場の軟調が続いたこと、7月の金融政策決定会合で、日銀が10年債利回りの変動幅について±0.5%程度を目途として維持しつつ、全営業日実施の金額無制限、固定金利指値オペの水準を0.5%から1%に変更したことでYCCバンドの実質的な拡大を決定したこと、10月の金融政策決定会合において長期金利の上限である1%を超える取引を容認するYCCの柔軟化措置が決定されたこと等を背景に、金利は上昇基調が継続しました。

◇ファンド状況

■1万口当りの費用明細

項目	当期
	円
(a) 売買委託手数料	-
(b) 有価証券取引税	-
(c) その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

11月以降は一転、米国の弱めの雇用、物価指標やFRB主要メンバーのインフレ鎮静時の利下げ示唆に加え、12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)において2024年における大幅な利下げ見通しが示されたこと等を背景に、米国債市場が大幅利回り低下基調となったことから、国内債券市場においても金利は低下基調となりました。その後、2024年に入ると、米国債市場において雇用、物価等の強めのデータを受けて早期利下げ観測が後退し金利が上昇基調となったため、国内債券市場も金利は上昇圧力を受けましたが、期末にかけては狭いレンジでの推移となりました。春闘における連合1次集計が定期昇給分を除いても非常に強い結果となり、賃金・物価の好循環への期待が維持された中、3月の政策決定会合において、日銀はマイナス金利解除を決定、日銀当座預金金利は+0.1%に設定、無担保コールレートのオーバーナイト物は0~0.1%に誘導すると発表しました。同時に、YCC、株式ETF、J-REITの買入れ、声明文におけるオーバーシュートコミットメント等、ほとんどの非伝統的緩和策の終了を決定しましたが、国債買入れについては現状の月6兆円程度の買入額を維持するとしました。

ポートフォリオについて

円建ての債券を主要投資対象とし、長期的に円ベースでの信託財産の安定した成長を目標として運用を行いました。

当期、外国債への配分がプラス寄与しました。また、利回りカーブ効果、国債の銘柄選択はマイナス寄与したものの、国債のデュレーションのアンダーウェイトのプラス寄与が上回り、金利関連のポジションも小幅にプラス寄与しました。

今後の運用方針について

円建ての債券を主要投資対象とし、長期的に円ベースでの信託財産の安定した成長を目標として運用を行います。

引き続き、相対的にリスクが低いと考えられる短期国債を中心に保有しつつ、一部は財投機関債や地方債に配分することで利回り向上を図ります。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数

(b) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数

(c) その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

◇運用内容

■売買及び取引の状況(2023年4月1日から2024年3月29日まで)
公社債

		買 付 額	売 付 額
国内	国債証券	10,404,575	1,090,160 (10,590,000)
	地方債証券	502,863	— (100,000)
	特殊債券(除く金融債券)	505,516	— (500,000)
	社債券	—	— (300,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄(2023年4月1日から2024年3月29日まで)
公社債

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1151	国庫短期証券	1,780,731	1179	国庫短期証券	290,058
1169	国庫短期証券	1,640,547	1197	国庫短期証券	260,050
1186	国庫短期証券	1,631,438	1144	国庫短期証券	170,028
1162	国庫短期証券	1,630,607	1162	国庫短期証券	170,014
1179	国庫短期証券	1,460,529	1151	国庫短期証券	80,006
1197	国庫短期証券	1,160,491	1186	国庫短期証券	80,000
1213	国庫短期証券	900,227	1134	国庫短期証券	40,000
225	政保道路機構	104,386			
2	名古屋20年	101,836			
207	政保道路機構	100,491			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

公社債

(A) 種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	2,550,000 (2,550,000)	2,550,022 (2,550,022)	80.6 (80.6)	- (-)	- (-)	- (-)	80.6 (80.6)
地 方 債 証 券	400,000 (400,000)	401,128 (401,128)	12.7 (12.7)	- (-)	- (-)	- (-)	12.7 (12.7)
特 殊 債 証 券 (除く金融債券)	204,000 (204,000)	204,454 (204,454)	6.5 (6.5)	- (-)	- (-)	- (-)	6.5 (6.5)
合 計	3,154,000 (3,154,000)	3,155,605 (3,155,605)	99.8 (99.8)	- (-)	- (-)	- (-)	99.8 (99.8)

(注1) ()内は非上場債で内書き。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 詳細開示(個別銘柄別)

国内(邦貨建)公社債

銘	柄	年 利 率	償 還 年 月 日	額 面 金 額	評 価 額
(国債証券)		%		千円	千円
1186国庫短期証券		0.0000	2024/04/10	1,550,000	1,550,006
1213国庫短期証券		0.0000	2024/05/27	900,000	900,014
1219国庫短期証券		0.0055	2024/06/24	100,000	100,002
小 計		-	-	2,550,000	2,550,022
(地方債証券)					
2 名古屋市20年		2.5600	2024/06/20	100,000	100,690
735 東京都公債		0.5880	2024/09/20	100,000	100,238
488 名古屋市債		0.5980	2024/09/20	100,000	100,238
1-2 北九州市5年		0.0010	2024/09/26	100,000	99,960
小 計		-	-	400,000	401,128
(特殊債券(除く金融債券))					
60 地方公共団体		0.7290	2024/05/28	100,000	100,177
225 政保道路機構		0.5560	2024/08/30	104,000	104,277
小 計		-	-	204,000	204,454
合 計		-	-	3,154,000	3,155,605

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

◇資産状況

■投資信託財産の構成

2024年3月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	3,155,605	99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,566	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,162,172	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年3月29日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,162,172,477円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	5,686,238
公 社 債(評価額)	3,155,605,768
未 収 利 息	880,471
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	3,162,172,477
元 本	3,169,383,926
次 期 繰 越 損 益 金	△ 7,211,449
(D) 受 益 権 総 口 数	3,169,383,926口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	9,977円

<注記事項>

期首元本額	4,347,318,448円
期中追加設定元本額	—円
期中一部解約元本額	1,177,934,522円

期末における元本の内訳

リスク抑制分散投資ファンド(元本確保契約付)2022-07	3,169,383,926円
合計	3,169,383,926円

■損益の状況

自2023年4月1日 至2024年3月29日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	8,812,439円
受 取 利 息	8,812,439
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△13,564,402
売 買 益	59,640
売 買 損	△13,624,042
(C) そ の 他 費 用	△ 8,956
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 4,760,919
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 4,324,534
(F) 解 約 差 損 益 金	1,874,004
(G) 合 計(D+E+F)	△ 7,211,449
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△ 7,211,449

(注1) 損益の状況の中で有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で解約差損益金とは中途解約の際、解約代金と元本の差額をいいます。